

見守りを必要としている高齢者への注意喚起をお願いします。

◆ 身近にひそむ危険 ガスコンロなどでの着衣着火

調理中にガスコンロの火が袖口に燃え移るなど、何らかの原因で着ている服に火が付くことを「着衣着火」といいます。不意に炎が広がり冷静な対応ができなくなることもあり、高齢者の被害の程度は重くなる傾向があり、注意が必要です。

< 事故事例 >

- 上半身をかがめた際にコンロの火が衣服に引火
- コンロの奥にある鍋を取ろうとした際に衣服の脇の下に引火
- 調理中にブラウスのひらひらした袖に引火
- 調理中、コンロに背を向けてテレビをみていたところ背中に引火
- 仏壇の花を替えようとしたところ、ろうそくの火が衣服に引火
- 仏壇の掃除中にろうそくの火が袖に燃え移った



< 危険から身を守るためには >

- 火の近くで手を伸ばしたり、かがんだりすると、思いがけず火にからだがかぶることがあります。
- コンロの奥には、調味料など手に取るものを置かないようにしましょう。また、コンロのまわりは整理整頓をしておきましょう。
- 料理をする際には、マフラーやストールなどは外し、袖や裾が広がっている服の着用は控えましょう。また、表面が起毛した素材の服などを着用しているときは、炎に近づかないよう注意してください。
- 鍋、やかんなどを火にかける際は、鍋底から炎がはみ出さないよう、適切な火力に調整しましょう。

★ 右のQRコードから中野区ホームページにて、2020年4月からの情報「特急便」をご覧ください。



裏面にて、(独)国民生活センターの「見守り新鮮情報」をお届けします。

消費生活センター 中野区中野4-8-1 (区役所1階24番窓口)
 相談受付電話 03(3389)1191 FAX 03(3389)1199
 相談受付時間 月~金曜日 9時30分~16時 (土日・祝日・年末年始は休み)
 eメールアドレス shohiseikatusementa@city.tokyo-nakano.lg.jp

フリマサービス 受取評価は 商品をよく確認してから

事例1 フリマサービスのアプリでブランドもののネックレスを購入した。商品が届いたが、状態をよく確認せずに**受取評価**をしたため、その後偽物だと分かった。アプリの規約には「**評価**後の苦情などについては**当事者間**で話し合うように」と書かれていた。
(60歳代 女性)

「評価」は商品をよく確認してから!



©Kurosaki Gen

事例2 フリマサービスのアプリで中古のプロジェクターを購入した。電源が入らなかったため出品者に連絡したが、**評価**したことを理由に対応してくれない。フリマサービス運営事業者に苦情を伝えると「**受取評価**をしたらお金は**戻らない**」と言われた。
(60歳代 男性)

ひとこと 助言



見守るくん

確認してから
評価しよう

- フリマサービスでの取引は、売主と買主との個人間の取引です。トラブルが起きた場合は、基本的には当事者間での解決を求められることを理解しましょう。
- フリマサービスでは、買主が商品を受け取り、出品者を「評価」すると出品者に代金が支払われます。評価してサービス上の取引が完了してしまうと、トラブルが起きても、フリマサービス運営事業者の補償サービスやサポートを受けられないことがあります。商品が届いたら、状態をよく確認してから評価しましょう。
- 利用する際は、規約や初心者ガイドなどで、取引ルールやトラブル発生時の対応(補償サービスやサポートなど)をしっかりと確認することが大切です。